令和6年度　朝日中学校　学校だより

R6.5.14

杉のっこ

鶴岡市立朝日中学校
TEL:53-2092
Fax:53-2091
Mail⇒

単元テストの実施について

昨年度のPTA理事会等で「2学期の中間テストを復活させてほしい」という意見をいただきました。これは、単元テストが評価にも反映される一方で、いつ実施されるのかがお家の方が把握できないため、「子どもに声をかけにくい」、「勉強している姿が見えない」のほか「校内順位が分からない」等の理由があったと承知しております。

このことについては、学校でも検討しましたが、結論、学校だより等で単元テストのねらいや意義をご説明したうえで、これまでは生徒にのみ実施日や範囲などをお知らせしていたものを、学校だより等でもお知らせすることを前提に単元テストを継続することとしています。

中間テストを廃止し、単元テストを実施することとしたのは、「学習指導要領（各学年で学習すべき内容等を文部科学省が定めたもの）」の改訂により、今後、生徒の皆さんが社会に出たとき、たくましく生きていくため、今、中学校で「つけるべき力」についての考え方が変化したことを踏まえてのことです。

これまでは、各教科の学習内容について、「知っているか」「覚えたか」「解けるか」といったことや、授業や課題解決に「積極的か」が重要視されてきました。もちろん、必要な知識・技能は、今も昔も変わらず身につけなければならないものですが、現在は、例えば、「なぜそういう性質やことがらが導きだされたのか」といった理由や根拠の理解に加え、身に着けた知識・技能を複数つなげ、今まで取り組んだことのない課題を解決できる力がどの程度身についたのか、や、知識・技能等を自分に合った方法や取り組み方で身につけようとしたり、粘り強く学びに向き合ったりしているか等、いわば「過程」も重要であると考えられています。そう考えたとき、より短いスパンで単元テストを行うことで、生徒の理解度や考え方等の過程をその都度確認しやすくなり、必要に応じてその後の学習の取り組みの改善につなげやすく、我々としても、その後の指導に生かしやすいと考えています。また、単元テストへの準備を通して学習習慣の定着も期待できると思います。「わかる」「解ける」こと自体も大事ですが、自分なりに「分かり方を知る」「解き方を身に着ける術を知る」ための力をつけることにも目を向けた結果でもあると考えています。

ただし、自分の位置を客観的に知ることや、各単元で学んだ知識・技能を複数組み合わせて課題を解決する力を改めて確認するという意味でも、本校では各学期の期末テストは継続して実施することにしています。

また、「どこまで分かってどこから分からないのか」、「どこまでできて、どこからできないのか」といったペーパーテストでは把握が難しいことについては、レポートや成果物の提出を求めたり、英語や国語であれば、話せるか、聞き取れるか、を実技テストで確認したりもしています。

今回は、単元テストの意義、ねらいについて大まかに述べさせていただきました。伝わりにくい文章で申し訳ありません。不明な点等ございましたら、学校までご連絡ください。

3年　英語単元テスト

実施日：5月17日（金）

※ワーク用ノートと本体を提出していただく予定です。

2年　家庭科単元テスト

実施日：5月23日（木）

※テスト勉強用の特別プリントも活用して勉強を進めてください。

3年生は来週修学旅行ですね。寒暖差の大きい今日この頃、体調管理には十分気を付けてくださいね！